

お 知 ら せ
平成 29 年 2 月 23 日
気 象 庁

東南海ケーブル式海底地震観測システム陸上部の機器更新について

東南海ケーブル式海底地震観測システム陸上部の更新作業に伴い、平成 29 年 2 月 27 日より 3 月 1 日まで、東海沖に設置している海底地震計データについて緊急地震速報への利用を停止します。この間は、同海域で発生した地震の緊急地震速報の発表が最大 13 秒程度遅れる場合があります。なお、津波警報および地震情報の発表への影響はありません。

本件に関する問い合わせ
気象庁地震火山部管理課
Tel 03-3212-8341 (内 4504、4506)

東南海ケーブル式海底地震計の利用停止時の緊急地震速報への影響について

1. 利用停止期間及び利用停止観測点

緊急地震速報に利用している観測点のうち、東海沖に設置している東南海ケーブル式海底地震観測システム陸上部の機器更新を行います。更新作業に伴い、下記の通り東南海ケーブル式地震計について緊急地震速報への利用を停止します。

[利用停止期間]

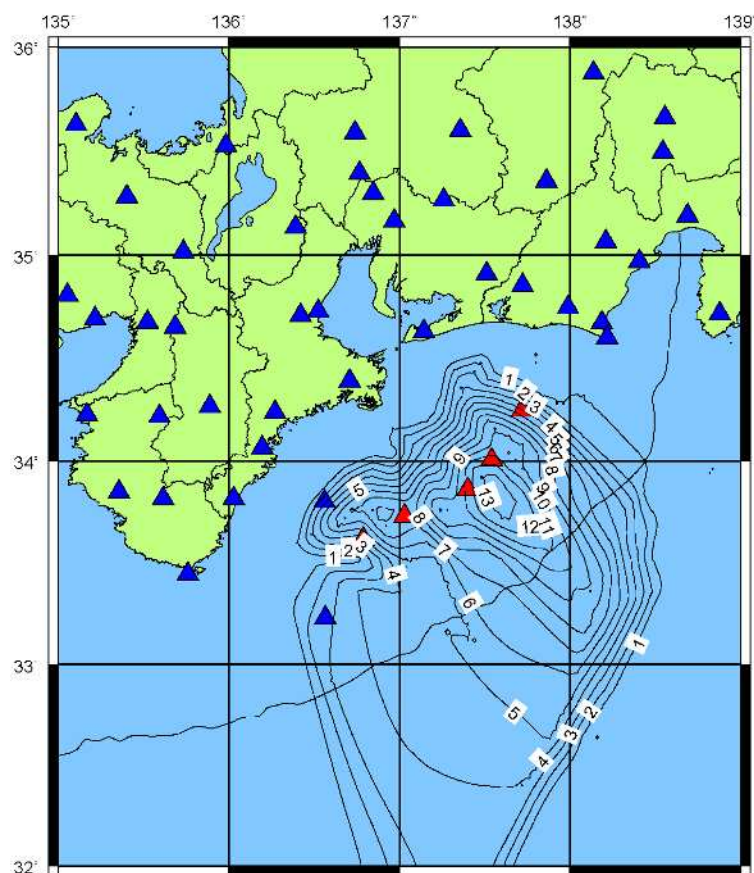
平成 29 年 2 月 27 日 9 時 ~ 平成 29 年 3 月 1 日 17 時

[利用停止観測点]

東南海ケーブル式地震観測点 5 地点（下図：赤）

2. 利用停止による影響

利用停止期間中に、東南海ケーブル式海底地震計の周辺で地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が通常時に比べて最大で 13 秒程度遅れる場合があります(下図参照)。なお、津波警報及び地震情報に用いる震源やマグニチュードの算出では、広範囲の観測点のデータを用いて職員が精査しているため、発表時間や内容に影響はありません。



図中の等値線は、5 観測点のデータ利用を停止した期間に、仮に地震がその場所で発生した際、通常より緊急地震速報の発表がどのくらい遅れるかを、秒数で示したものの。

図中の 及び は、気象庁が緊急地震速報に利用している観測点